



「カジノ法案成立」という現実

カジノ法案(IR整備法案)が成立してしまいました。政府はことさらに経済効果を言いつのりますが、わたしはその言い分を認めません。

いままでも「政治」がその場しのぎで掲げてきた「経済効果」のような「大きな物語」によって、どれほどの「小さな物語」が踏みにじられてきたかをこの法律に関った人々はご存知なのでしょうか。

ギャンブルで負けが込んだ人は、あと一回やればきっと取り返せると深みにハマります。依存症などという以前に、生真面目で律儀な性格の人には限って真っ暗な場所に迷い込んでいくのです。そして、その暗い場所に家族までもが引きずりこまれ「小さな物語」が失われます。かけがえのない「場所」がある日突然奪われ、慎ましくても穏やかな日常が奪われる、そのことを真剣に想像してくださることを願います。

政治家は、一人でも多くのひとを幸せにしようと頑張らなくてはならないのに、なぜあえて家族までをも不幸にさせるような法律を作るのでしょうか。

わたしは一人の小さな政治家として、穏やかな日々を奪われた「痛み」を知る者として、この法律の廃案を訴えてまいります。

町田市議会議員 東 友美

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

一番大切なのはヒト、次に土。これ以上、土にコンクリートをのせるのはやめませんか？キーワードは農業、自然、動物、福祉、子育て(いじめ、不登校等)、LGBT、マイノリティ、人権、エネルギー、不妊、医療、介護等です。ピンときたらご相談ください。

○後援会(東友美と百人の会)会員募集中
○お問い合わせ：東友美(ひがしともみ)事務所
〒194-0022 町田市森野6-379-1-501
電話：070-4812-8813 ファックス：042-739-6651
メール：info@higashi-tomomi.com
ツイッター：@higashi_machida
※まずは電話かメールでご連絡ください。
※寄付を一口1,000円から承ります。会の政治活動に使わせていただきます。

○プロフィール

[略歴]1984年3月岩手県に生まれる(山崎団地在住)。正和幼稚園卒園、町田市立忠生第五小学校卒業、町田市立山崎中学校卒業、東京都立忠生高校卒業。2007年3月東京農業大学卒業。製薬会社(MR職)、不妊治療クリニック(胚培養士)等に勤務後、2018年2月町田市議会議員選挙に立憲民主党から初当選。

[趣味]一人旅、家庭菜園、スキューバダイビング、アクセサリー作り。

[保有資格]図書館司書、学芸員、秘書技能検定2級、アロマテラピー検定1級、医療保険士、マスター・スクーバ・ダイバー(スキューバダイビング)。



町田市議会議員 東 友美 (まちだ市民クラブ)

議会報告

2018.8.1

vol.1

まちだ市民クラブとは…立憲民主党、国民民主党、生活者ネットワーク、無所属の議員合計6名で構成されている町田市議会の第二会派です。

index

一般質問 [2P]

…LGBTについて(3月、6月議会)

…子どもの相談窓口について(3月、6月議会)

…生産緑地について(3月議会)

…投票所の駐車場について(3月議会)

総務委員会質問 [2P-3P]

…「まちだ〇ごと大作戦18-20」について

…「人材育成費」について

…「町田ターミナルプラザ費」、「プラザ町田費」について

…「農業」について



町田市議会議員 東 友美

お陰をもちまして、本年2月の選挙にて初当選させていただきました東友美です。早いもので市議会に送り出していただいてから丸5ヶ月が経ちました。この間3月議会、6月議会に出席、議会の合間には勉強会や地域の活動など様々な経験をさせていただきました。私の公約、また立憲民主党が第一に掲げております「草の根からの民主主義」の実現を目指し毎日活動しております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

【西日本豪雨災害に心を寄せて】

西日本を中心とした豪雨災害により、お亡くなりになられました方々に哀悼の意を表するとともに、被災されました全ての方々にお見舞いを申し上げます。今や豪雨災害は珍しいことではなく、毎年被害が出ていることに心痛みます。

町田もいつ被災地となるかわかりません。市へ災害対策の強化を強く求めていくと共に私自身も準備を怠ることの無いよう意識を持って活動して参ります。

本会議一般質問 総務常任委員会質問



一般質問

3月議会、6月議会で4項目に関して
合計約2時間の質問を致しました。

多様性を認めえる町田に。 ○相談窓口について

町田市にも「LGBTの悩みを相談する窓口」は存在します。しかし、その窓口の名称は「女性悩みごと相談」のみです。これ、おかしいと思いませんか？マイナリティ等の性に関する悩みは女性でない方もお持ちです。女性でない方が「女性悩みごと相談」に電話をかけますか？私はかけないと考えます。ユーザーの立場に立ったLGBT専用窓口の設置を市に訴え続けます。

○町田市民病院における対応について

病院で手術が必要であり、そのうえ当事者が意思表示できない場合には家族の同意書へのサインが求められます。ではその家族関係が証明できない同性パートナーの場合は？町田市民病院の場合「同性パートナーの同意は“無効”」です。どれだけ深い関係や絆があっても同性パートナーは手術等に同意ができません。私はこれはおかしいと考えています。「同性パートナーの同意も“有効”」とするよう実現するまで根気強く訴えてまいります。

(自身の性自認や性的指向が定まっていない人を表すエクスチニギングの頭文字を加えたL G B T Q、また、インターセックスの頭文字であるIを加えたL G B T I、性指向と性自認をあらわすS O G Iなどさまざまな用語がありますが、社会に一番定着していると考えられるL G B Tという単語を使用しております。なお、私が使用しているL G B Tという単語は広義での性的マイナリティーを指しており、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーのみを表しているものではありません。)

相談しやすい町田に。 ○メールやライン等の相談方法について

いじめや家族関係など、家族や友だちにもなかなか言えない「子どもの悩みごとや困りごと」。現在、町田市に設置されている子ども用の相談窓口は「電話のみ」です。しかし、今の子どもは電話になじみが薄いとされています（総務省発表）。さらに文科省も「相談に係る多様な選択肢を用意することが喫緊の課題」との見解を発表しています（本年3月）。今の子どもたちには家族や友だちに言えない悩みを電話で声に出して誰かに相談することがハードルになっていると私は考えています。子どもたちが相談しやすい体制を作っていくために、「メールやラインでの子どもの相談窓口の設置」が必要です。

○相談窓口、居場所づくりとして図書館を活用

図書館は悩みを抱えている子の居場所の一つと私は考えてい

ます。その図書館に相談窓口があれば子どもは相談しやすくなるはずです。実際に米国では「自殺したくなったら図書館へ」というポスターが貼られています。子どもたちが相談しやすい町田にするために「相談窓口の拡充や子どもの居場所」を一つひとつ増やしてまいります。

農業の盛んな町田に。 ○生産緑地について

生産緑地制度は営農を30年間継続する制度です。ほとんどの生産緑地は1992年から本制度の利用を始めた為2022年に30年目を迎え、その営農義務が解除されることから宅地等への転換が懸念されています。これが「生産緑地2022年問題」です。私は町田の農業を守り、生産緑地からの不要な宅地化を防ぎたいと考えています。町田の農業が衰退することが無いよう、まから必要な対策を講じていくことを市とともに進めてまいります。

○町田市民病院における対応について

病院で手術が必要であり、そのうえ当事者が意思表示できない場合には家族の同意書へのサインが求められます。ではその家族関係が証明できない同性パートナーの場合は？町田市民病院の場合「同性パートナーの同意は“無効”」です。どれだけ深い関係や絆があっても同性パートナーは手術等に同意ができません。私はこれはおかしいと考えています。「同性パートナーの同意も“有効”」とするよう実現するまで根気強く訴えてまいります。

(自身の性自認や性的指向が定まっていない人を表すエクスチニギングの頭文字を加えたL G B T Q、また、インターセックスの頭文字であるIを加えたL G B T I、性指向と性自認をあらわすS O G Iなどさまざまな用語がありますが、社会に一番定着していると考えられるL G B Tという単語を使用しております。なお、私が使用しているL G B Tという単語は広義での性的マイナリティーを指しており、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーのみを表しているものではありません。)

相談しやすい町田に。 ○メールやライン等の相談方法について

いじめや家族関係など、家族や友だちにもなかなか言えない「子どもの悩みごとや困りごと」。現在、町田市に設置されている子ども用の相談窓口は「電話のみ」です。しかし、今の子どもは電話になじみが薄いとされています（総務省発表）。さらに文科省も「相談に係る多様な選択肢を用意することが喫緊の課題」との見解を発表しています（本年3月）。今の子どもたちには家族や友だちに言えない悩みを電話で声に出して誰かに相談することがハードルになっていると私は考えています。子どもたちが相談しやすい体制を作っていくために、「メールやラインでの子どもの相談窓口の設置」が必要です。

○相談窓口、居場所づくりとして図書館を活用

図書館は悩みを抱えている子の居場所の一つと私は考えてい

ます。その図書館に相談窓口があれば子どもは相談しやすくなるはずです。実際に米国では「自殺したくなったら図書館へ」というポスターが貼られています。子どもたちが相談しやすい町田にするために「相談窓口の拡充や子どもの居場所」を一つひとつ増やしてまいります。

農業の盛んな町田に。 ○生産緑地について

生産緑地制度は営農を30年間継続する制度です。ほとんどの生産緑地は1992年から本制度の利用を始めた為2022年に30年目を迎え、その営農義務が解除されることから宅地等への転換が懸念されています。これが「生産緑地2022年問題」です。私は町田の農業を守り、生産緑地からの不要な宅地化を防ぎたいと考えています。町田の農業が衰退することが無いよう、まから必要な対策を講じていくことを市とともに進めてまいります。

投票しやすい町田に。 ○投票所の駐車場について

現在、町田市内の期日前投票所のうち4ヶ所、当日投票所のうち13ヶ所に駐車場がありません。ご高齢の方やお身体の不自由な方などを中心に「車でなければ投票に行けない」という方がいらっしゃいます。行きやすい投票所への改善と投票率向上のための取り組みを進めてまいります。（尚、期日前投票所11ヶ所の内、7ヶ所には駐車場が設置されています。期日前投票所に関しては市内の有権者の方であれば11ヶ所どこの投票所でもご利用いただけます）

総務常任委員会

○「まちだ〇ごと大作戦18-20」について

東：現状どれくらいの提案があるのか。
答：相談38件、エントリーシート提出23件、計61件。

東：具体的に進んでいる件数は。
答：現段階で1件の提案の実施が決定されている。

東：現状1件というのは予定どおりか。
答：1月から募集、企画まで上がってくるものはそんなにないと予想していた。想定より1件あった（多かった）。

東：今後の課題と対応は。
答：PR活動は必要。「広報まちだ」への掲載や、パンフレットの公共施設への配布など、機会あるごとに展開をしている。

○相談窓口、居場所づくりとして図書館を活用

図書館は悩みを抱えている子の居場所の一つと私は考えてい

3月時点では1件の決定があったとのことでしたが、6月議会時においても1件から増加していないことが判明。市民の提案に対して資金の支援を行う本事業、活用されるべきです。半年でたったの1件、今まで目標とされている3年間に300件が達成できるのでしょうか。市に対して順調に進めていくよう訴えていきます。

○「人材育成費」について

東：東京市町村総合事務組合研修負担金が1,434万3,000円計上されているが、加入しないといけないのか。メリットは。
答：加入は任意。メリットは共同で主催することで経費が削減できること。26市が集まりながら合同に研修するので他市の職員と情報交換や意識啓発になること。

東：講師謝礼の968万5,000円は何人に支払っている合計金額なのか。
答：62件分の講師謝礼と見込んでいる。

東：1人当たり幾ら支払っているのか。

答：あくまでも平均額だが、1日当たり約14万円という額になる。

東：かなり高額かと思うが、中身に関してはどうか。

答：講師の選定には、十分に考えているので、内容としては十分だと考えている。

職員研修の講師に謝礼として1日あたり平均14万円。それが本当に妥当なのか疑問が残りました。適切な内容、適切な謝礼を訴えていきます。

○「町田ターミナルプラザ費」、「プラザ町田費」について

東：予算を見る限りでは、1つの事業として赤字だと推測するが、どうか。
答：1階に公共のバスが入っており、その面積がかなり多くかかっている。そこを今無償で貸し付けていることが、かなり赤字にふれている要因の1つ。

東：1階以外が飲食店舗や市民広場などで利用されているが、赤字を減らすような努力をしているか。

答：2階の飲食の部分には全ての店舗が入っているため、その部分の収益性は確保していくと考えている。削減できるものは削減する方向で検討を進める。

東：1階のバスターミナルにおける観光バスに関する収益はどうか。

答：バス発着の利用料は1,500円、1年で500万円程度を見込んでいる。

○「プラザ町田費」について

東：本件も予算書を見る限りでは赤字に見えるが、どうか。
担当：貸し会議室が満室になったときでも黒字化するというのがなかなか難しいが、赤字幅の減少は、これからもしていきたい。

町田ターミナルプラザ（1階にバスターミナルの入っている建物）とプラザ町田（旧ぱるるプラザ町田）で毎年1億円以上の赤字を出しているにも関わらず、抜本的な対策を取っていません。引き続き問題提起を行っていきます。

○「農業振興費」について

東：遊休農地再生事業補助金に関して、実際に農地を借りてから、この補助を受けられるまでにタイムラグが生じるため耕作ができず、農地のレンタル代だけがかかりその間の経費が無駄にかかってしまうという問題をきいているが、どうか。
答：農地の斡旋と実際の補助とのタイムラグは当然ある。今現在は、なるべく使いやすい農地を利用してもらうことによりタイムラグの解消などを考えていきたい。

○「ふれあい農業推進費」について

東：市民農園の申込状況、倍率等は？もし足りないのであれば、その対策は。
答：忠生市民農園の倍率は約1.5倍で人気が高いと考える。農家の方たちに体験農園を含めて、どのような活用ができるかということのPRを図っていく。

○「遊休農地の解消」について

東：遊休農地の解消について、何か進んでいる点はあるか。

答：斡旋事業の他、農道等の整備を進め、解消を図りたい。

耕作不可能な遊休農地を借りてから整備をするまで農家さんが払う無駄なレンタル代、市民農園の不足、遊休農地の解消に関する問題提起を行いました。対策がきちんと講じられているかチェックしていきます。

一ご報告一

6月議会補正予算の修正案が 賛成多数で可決

6月補正予算にて（仮称）国際工芸美術館の実施設計委託料、野津田公園陸上競技場の観客席増設に向けた造成工事費が計上されました。

これに対し、（仮称）国際工芸美術館の実施設計費部分を除く修正案が他会派より提出され、まちだ市民クラブ会派も修正案に賛成し、賛成多数で採択されました。